

令和3年5月26日

北海道知事

鈴木直道 殿

法人の名称 一般社団法人室蘭建設業協会

代表者の氏名 中田 孔幸

公益目的支出計画実施報告書等の提出について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、別紙のとおり令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の公益目的支出計画実施報告書等を提出いたします。

【別紙1:法人の基本情報】

法人コード	A007613
-------	---------

1. 基本情報

フリガナ	イッパンジャダンホウジンムロランケンセツギョウキョウカイ				
法人の名称	一般社団法人室蘭建設業協会				
主たる事務所の住所及び連絡先					
住所	郵便番号	都道府県名	市区町村丁番地等	補足住所	
	0510023	北海道	室蘭市入江町1番74		
代表電話番号	0143-22-1045	内線		FAX番号	0143-22-7295
代表電子メールアドレス	whale@mcae.jp,lily@mcae.jp				
ホームページの有無	有				
ホームページアドレス	http://www.mcae.jp/				
代表者の氏名	中田 孔幸				
事業年度	4月 1日～		3月 31日		
事業の概要	・建設業の技術及び経営の改善に関する調査研究、指導、 ・建設業に関する法制及び施策の調査研究・関係機関及び関係諸団体への要望、交渉				

【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【 令和 2 年度(令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	642,341,752 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	239,824,407 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	210,692,344 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	31,721,366 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	2,589,303 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	402,517,345 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 ^注	
<p>公益目的支出差額が計画を下回っている状況について、各種研修会の充実、災害用備品等の購入により支出を上乗せし、公益目的支出が計画通り実施できるように努めたい。</p>	

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和18年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	642,341,752 円	642,341,752 円	642,341,752 円	642,341,752 円	642,341,752 円
公益目的収支差額	242,902,125 円	210,692,344 円	269,891,250 円	239,824,407 円	296,880,375 円
公益目的支出の額	28,789,125 円	29,258,880 円	28,789,125 円	31,721,366 円	28,789,125 円
実施事業収入の額	1,800,000 円	2,778,046 円	1,800,000 円	2,589,303 円	1,800,000 円
公益目的財産残額	399,439,627 円	431,649,408 円	372,450,502 円	402,517,345 円	345,461,377 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

(2)[公益目的支出計画実施報告書]

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 1	人材育成・研修事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>1. 建設業実務講習会(趣旨) 主にCPD(継続学習制度)のユニット取得を目的とした実用的な講習会(内容)専門家や有識者を講師とした講習会(対象者)会員企業の職員と協力会社の担当者 2. 工業高校生現場見学会(趣旨)明日の建設業を担う人材確保の為、建設業の素晴らしさを啓蒙し、入職促進を図る(内容)会員企業等が施工中の工事現場を見学し、最新工法・技術について直接触れる機会を作る(対象者)室蘭・苫小牧工業高校生を対象に土木・建築科各年1回 3. 建設業専門研修会(趣旨)北海道開発協会と合同で主催する。総合評価方式や労働安全等に係る研修会(内容)国の職員や専門家・有識者を講師とした研修会(対象者)会員企業の職員と開発協会会員の職員 4. 賃金管理説明会(趣旨)毎年国が行う公共事業労務費調査については、記入ミス等により無効となる回答が多く見られることから調査票の正しい記入方法等について指導・相談を実施(内容)当協会の労務委員と会員企業の職員を相談員として、会員企業や協力会社の担当者から個別相談に応じる(対象者)労務員会・労務研究会と会員企業の職員と協力会社の担当者 5. 地域建設業経営改革対策講習会・研修会(趣旨)「本業強化」や「経営多角化」等を加速するための取組支援(内容)企業再生を目指すための本業を強化するのか、経営多角化による新規事業への進出を図るのかサポート(対象者)会員企業の職員と協力会社の担当者</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	6,300,000 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	1,800,000 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>1. 建設業実務講習会 第1回 日時:令和2年6月24日(水)参加者:59名 第2回 日時:令和2年7月6日(月)参加者:61名 第3回 日時:令和2年7月15日(水)参加者:67名 第4回 日時:令和2年7月30日(木)参加者:61名 第5回 日時:令和2年10月2日(金)参加者:54名 第6回 日時:令和2年11月26日(木)参加者:46名 2. 工業高校生現場見学会 日時 苫小牧・・・令和2年9月4日(金)(土木科)・令和2年10月15日(木)(建築科) 室蘭・・・令和2年9月15日(火)(土木科)・令和2年10月9日(金)(建築科) 見学場所:苫小牧土木科・・・苫小牧西港関連工事、日高自動車道節婦東改良工事、日高自動車道大狩部トンネル工事 苫小牧建築科・・・厚真リハビリセンター・豊厚園・厚真デイサービスセンター移転改築工事 室蘭土木科・・・苫小牧西港関連工事、日高自動車道節婦東改良工事、日高自動車道大狩部トンネル工事 室蘭建築科・・・室蘭市道営住宅新築工事、—1室蘭市道営住宅新築工事、室蘭市環境科学館・市立室蘭図書館建築主体その1工事、—1室蘭市環境科学館・市立室蘭図書館建築主体その2工事 3. 建設業専門研修会 本年度は実施していない 4. 賃金管理説明会(3地区に分けて開催)・室蘭地区 日時:令和2年11月11日(水)・苫小牧地区 日時:令和2年11月10日(火)・日高地区 日時:令和2年11月9日(月) 5. 地域建設業経営改革対策講習会・研修会(2回開催):令和2年11月4日(水)会場:室蘭建設会館、令和2年2月8日(月)会場:室蘭建設会館 参加者:1回目42名 2回目46名日 6. 保証会社の助成事業(趣旨)若手技術者の定着化と現場技術力の向上を図り、日胆地区の安全と安心を実現していくため技術者の確保及び育成と、さらなる能力向上並びに若年者の定着化を目指す(内容)日胆地区の建設業も近年若年者の入職が減少し、また、現在入職している若年者の人材の育成が急務となっている。一方、入職したものの若年者の離職も多く、建設企業にとっても経営上きわめて重要な課題となっている。このため、若年者の技術力向上や他の建設企業との連携が次世代の人材づくりや技術力継承にも繋がるものであり、建設業実務講習会や地域建設業経営改革対策講習会・研修会などと同様に、選択肢を設けることにより若年者の技術力向上及び定着化を図っていくものである。(対象者)当協会の会員企業の若手職員 日時(2日間):令和2年8月6日(木)・7日(金)</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	5,236,902 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	2,589,303 円
③ (①-②)の額	2,647,599 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	5,236,902 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	2,589,303 円

①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由^{注1}

専門研修会の補助金の取りやめによる支出の減少及び実務講習会の負担金が増えたため収入が計画よりも増となった

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
イ 1	室蘭市入江町1-7 4(5,237.34平米)	122,737,062 円	円	294,862,242 円	294,862,242 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
ロ 1	株式会社(株)ドーコン 4,200(株)	円	円	2,100,000 円	2,100,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
a 1	建物	円	円	232,106,975 円	221,662,162 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(4%)
a 2	建物付属設備	円	円	1,559,896 円	1,299,394 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(17%)
a 3	什器備品	円	円	60,908 円	44,814 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(26%)
a 3	財務会計ソフトウェア	円	円	71,255 円	71,255 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
b 1	出資金(室蘭信用金庫) 190口	円	円	95,000 円	95,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
b 2	電話加入権(2本)	円	円	70,000 円	70,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
事業収入	708,000 円	708,000 円	実務講習会受講料
受取助成金	1,881,303 円	1,881,303 円	現場見学会助成金・経営改革対策事業助成金・保証会社助成金
計	2,589,303 円	2,589,303 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	5,236,902 円	5,236,902 円	異なる費用科目はないため(1)と(2)は同額である
	円	円	
計	5,236,902 円	5,236,902 円	

注4:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

(2)[公益目的支出計画実施報告書]

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	2	相談・指導・啓発事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>1. 現場安全パトロール (趣旨)安全に工事が行われるよう工事現場における安全衛生管理や事故防止対策の実施等を点検パトロールする(内容)建設安全対策委員が会員企業等の工事現場などを対象に安全衛生管理、事故防止対策などの実施状況を点検・パトロールし、必要があれば改善措置等について指導する(対象者)会員企業と協力会社 2. ホームページの更新(趣旨)会員はもとより、広く一般に当協会の組織や活動状況について理解してもらうためインターネットのホームページを更新(内容)必要に応じて随時更新(対象者)一般市民・会員企業</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	300,000 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	0 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>1. 現場安全パトロール 日時:令和2年10月20日 場所:30年災675号厚真川(厚幌ダム)外災害復旧工事5工区、シュルク沢川災害関連緊急砂防工事2工区(繰越)、厚真川水系東和川砂防堰堤外工事</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	184,342 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	0 円
③ (①-②)の額	184,342 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	184,342 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	0 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	
<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のためパトロールの回数が減ったため、支出が約10万円計画を下回った</p>	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{※1}	資産の名称	時価評価資産の算定日の時価	移行後に取得した場合の取得価額	前事業年度末日の帳簿価額	当該事業年度末日の帳簿価額	使用の状況
イ 1	室蘭市入江町1-74(5,237.34平米)	122,737,062 円	円	294,862,242 円	294,862,242 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
ロ 1	株式会社(株)ドーコン 4,200株)	円	円	2,100,000 円	2,100,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
ア 1	建物	円	円	232,106,975 円	221,662,162 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(4%)
ア 2	建物付属設備	円	円	1,559,896 円	1,299,394 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(17%)
ア 3	什器備品	円	円	60,908 円	44,814 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(26%)
ア 3	財務会計ソフトウェア	円	円	71,255 円	71,255 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
イ 1	出資金(室蘭信用金庫)190口	円	円	95,000 円	95,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
イ 2	電話加入権(2本)	円	円	70,000 円	70,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)

注2: 算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・・・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{※3}
	0 円	0 円	
	0 円	0 円	
計	0 円	0 円	

注3: 実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{※4}
その他	184,342 円	184,342 円	異なる費用科目はないため(1)と(2)は同額である
	円	円	
計	184,342 円	184,342 円	

注4: ①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	3	調査・研究事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>1. 発注機関との意見交換(趣旨)より良い社会資本整備を進めるため、発注機関(国・道)と当協会が定期的あるいは随時に意見交換を行う(内容)法令等の改正をはじめ、入札・契約事務や設計変更などに係る制度改正などについて要望活動を行う(対象者)発注機関の職員と当協会の役員・委員 2. 行政機関への要望(趣旨)国・道などの行政機関に対し、公共事業の確保や、建設業に係る制度改正などについて要望活動を行う(内容)国等の予算編成の時期などに、公共事業予算の確保、発注機会の拡大、入札・契約制度の改善など、建設業経営安定に係る要望活動を行う(対象者)国や北海道庁など 3. 建設業関連図書購入(趣旨)国内の建設業を取り巻く情勢、技術開発などの動向について情報収集するため関連図書を購入(内容)上部団体の発行する月刊誌等の購入(対象者)会員企業、協会事務局 4. (一社)北海道建設業協会との協力事業(趣旨)当協会の上部団体である(一社)北海道建設業協会が実施する事業への負担金(内容)建設業トップセミナー、建設業コンピュータセミナー等(対象者)(一社)北海道建設業協会</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	7,177,000 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	0 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>1. 発注機関との意見交換会・5月27日 室蘭建設管理部と正副会長との意見交換会・7月8日 室蘭開発建設部と正副会長との意見交換会・7月22日 北海道建設部、室蘭建設管理部との意見交換会・8月20日 北海道建設部、室蘭建設管理部との意見交換会・10月12日 北海道建設部、室蘭建設管理部との意見交換会・11月9日 北海道開発局、室蘭開発建設部と正副会長との意見交換会・1月18日 北海道建設部、室蘭建設管理部との意見交換会 2. 行政機関へ要望・9月14日室蘭開発建設部長へ要望書提出、10月12日室蘭建設管理部へ要望書提出、11月16日北海道建設部長へ要望書提出 3. 建設業関連図書購入・全建ジャーナル購入(毎月発行)・北海道建設年鑑購入 4. (一社)北海道建設業協会との協力事業・会費の支払い</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	9,355,282 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	0 円
③ (①-②)の額	9,355,282 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	9,355,282 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	0 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	
(一社)北海道建設業協会の会費負担金が増額したため、支出が多くなった	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注2}	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に 取得した場合の 取得価額	前事業年度末日 の帳簿価額	当該事業年度 末日の帳簿価額	使用の状況
イ 1	室蘭市入江町1-7 4(5,237.34平米)	122,737,062 円	円	294,862,242 円	294,862,242 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
ロ 1	株式会社(株)ドーコン 4,200株)	円	円	2,100,000 円	2,100,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
a 1	建物	円	円	232,106,975 円	221,662,162 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(4%)
a 2	建物付属設備	円	円	1,559,896 円	1,299,394 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(17%)
a 3	什器備品	円	円	60,908 円	44,814 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(26%)
a 3	財務会計ソフトウェア	円	円	71,255 円	71,255 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
b 1	出資金(室蘭信用金 庫)190口	円	円	95,000 円	95,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
b 2	電話加入権(2本)	円	円	70,000 円	70,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)

注2:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2、a1など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 収益の額	②実施事業 収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
	0 円	0 円	
	0 円	0 円	
計	0 円	0 円	

注3:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の 費用の額	②公益目的 支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	9,355,282 円	9,355,282 円	異なる費用い科目ではないため(1)と(2)は同額である
	円	円	
計	9,355,282 円	9,355,282 円	

注4:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

(2)[公益目的支出計画実施報告書]

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号		事業の内容
継	4	防災・安全事業

(1) 計画記載事項

事業の概要	
<p>1. 防災対策事業(趣旨)室蘭開発建設部、胆振総合振興局、日高振興局と締結している防災協定に基づき、緊急出動の際の連絡体制や、資器材の保有状況など随時把握し、関係機関にも届ける(内容)緊急時の連絡体制、車両や資器材の保有状況などについて随時整備し、変更があれば関係機関に届出する(対象者)室蘭開発建設部、胆振総合振興局、日高振興局 2. 交通安全啓発事業(趣旨)資材や人員の輸送など建設業は車両を使う頻度が極めて高く交通安全への取組は重要である。(内容)建設産業による工事追込み期(年1回)に交通事故及び労働災害の防止を強く訴え、決意を新たにしようとして建設産業安全大会を実施する(対象者)室蘭開発建設部、室蘭労働基準監督署、室蘭警察署、会員企業</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	1,650,000 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	0 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>1. 防災対策事業 当協会で国から受託している広域防災フロートの非常時における派遣要請に即応する体制強化のための経費 2. 交通安全啓発事業 日時:令和2年9月17日(木) 参加者:142名</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	598,916 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	0 円
③ (①-②)の額	598,916 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	598,916 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	0 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 ^{注1}	
大きな災害が無かったため、災害対策備品の消耗が少なかった	

注1:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3) 実施事業資産の状況等

番号 ^{注1}	資産の名称	時価評価資産の算定日の時価	移行後に取得した場合の取得価額	前事業年度末日の帳簿価額	当該事業年度末日の帳簿価額	使用の状況
イ 1	室蘭市入江町1-74(5,237.34平米)	122,737,062 円	円	294,862,242 円	294,862,242 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
ロ 1	株式(株ドーコン 4,200株)	円	円	2,100,000 円	2,100,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
a 1	建物	円	円	232,106,975 円	221,662,162 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(4%)
a 2	建物付属設備	円	円	1,559,896 円	1,299,394 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(17%)
a 3	什器備品	円	円	60,908 円	44,814 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(26%)
a 3	財務会計ソフトウェア	円	円	71,255 円	71,255 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
b 1	出資金(室蘭信用金庫)190口	円	円	95,000 円	95,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)
b 2	電話加入権(2本)	円	円	70,000 円	70,000 円	計画記載通り引き続き当該事業で使用(0%)

注2: 算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・a1・など)を記載してください。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注3}
	0 円	0 円	
	0 円	0 円	
計	0 円	0 円	

注3: 実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{注4}
その他	598,916 円	598,916 円	異なる費用科目ではないため(1)と(2)は同額である
	0 円	円	
計	598,916 円	598,916 円	

注4: ①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

(4)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業等会計で「共通」に区分された収益・費用について】

損益計算書の「実施事業等会計」において「共通」の会計区分を設けている場合、その収益・費用について記載してください。「共通」の会計区分を設けていない場合は、本表の作成は不要です。

【実施事業収入の額の算定について】

①「損益計算書の収益の額」に対応した②「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{※1}
	0円	0円	
	0円	0円	
計	0円	0円	

注1:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

【公益目的支出の額の算定について】

①「損益計算書の費用の額」に対応した②「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	①損益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方 ^{※2}
その他	16,345,924円	16,345,924円	異なる費用科目ではないため(1)と(2)は同額である
	円	円	
計	16,345,924円	16,345,924円	

注2:①と②が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を①及び②欄に記載してもかまいません。

別表A〔公益目的支出計画実施報告書〕

【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて】

(1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注1}
事業の内容や実施方法に変更はないので、特に記載すべきないようはありません。

注1: その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記入してください。

(2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容(計画の変更内容)及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 ^{注2}
特に記載すべき内容はありません

注2: 「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入や施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨記載してください。

別表B〔公益目的支出計画実施報告書〕

【引当金等の明細】

(1) 実施事業に係る引当金

番号	引当金の名称	期首残高	当期増加額	目的	当期減少額		事業		期末残高
					目的使用	その他	区分	番号	
1	退職給与引当金	5,575,000 円	0 円	役職員の退職給付 支払に備えるため	0 円	円			5,575,000 円
2	役員退任慰労金	0 円	0 円	役員の退任慰労金 の支払いに備えるた め	0 円	円			0 円
		円	円		円	円			0 円

(2) (1)以外の引当金のうち、算定日において計上していたもの

番号	引当金の名称	期首残高	当期増加額	目的	当期減少額		期末残高
					目的使用	その他	
		円	円		円	円	0 円
		円	円		円	円	0 円

(3) 「その他支出又は保全が義務付けられているもの」としたものの注

番号	財産の名称	期首の価額	当期増加額	目的	当期減少額		期末の価額
					目的使用	その他	
		円	円		円	円	0 円
		円	円		円	円	0 円

注:算定日において、退職給付会計導入に伴う変更時差異の未処理額を公益目的財産額から控除した場合については、当該未処理額は記載不要です。なお特に記載すべき内容がない場合は空欄のままにしてください。

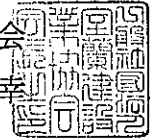
公益目的支出計画実施報告書

監事 小林 史明 殿
監事 戸澤 廣 殿
監事 福田 隆二 殿
監事 近江 毅 殿

当協会令和2年3月期決算終了につき、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの公益目的支出計画実施に係る関係書類を提出します。

令和3年4月20日

一般社団法人 室蘭建設業協会
会長 中田 孔幸



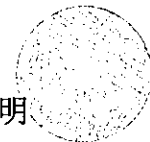
公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

一般社団法人 室蘭建設業協会
会長 中田 孔幸 殿

令和3年4月20日に提出されました貴協会令和3年4月1日から令和3年3月31日までの公益目的支出計画実施関係書類につき照合監査の結果正当に処理されていることを確認しましたので報告いたします。

令和3年4月20日

監事 小林 史明



監事 戸澤 廣



監事 福田 隆二



監事 近江 毅

